

プランにおける地域分類のイメージ

広域拠点エリア

< 京都の都市活力を牽引 >
 国内外から訪れる多くの人々の活動を
 支える京都らしい都心空間の創出
 (百貨店, オフィス, MICE施設 等)

地域中核拠点エリア

< 定住人口の求心力 >
 子育て期をはじめ, それぞれのライフ
 ステージに応じた必要な都市機能の効
 率的な利用
 (一定規模の商業施設,
 地域の拠点病院 等)

- ・都市間交通結節拠点
- ・文化・交流特色拠点

日常生活エリア

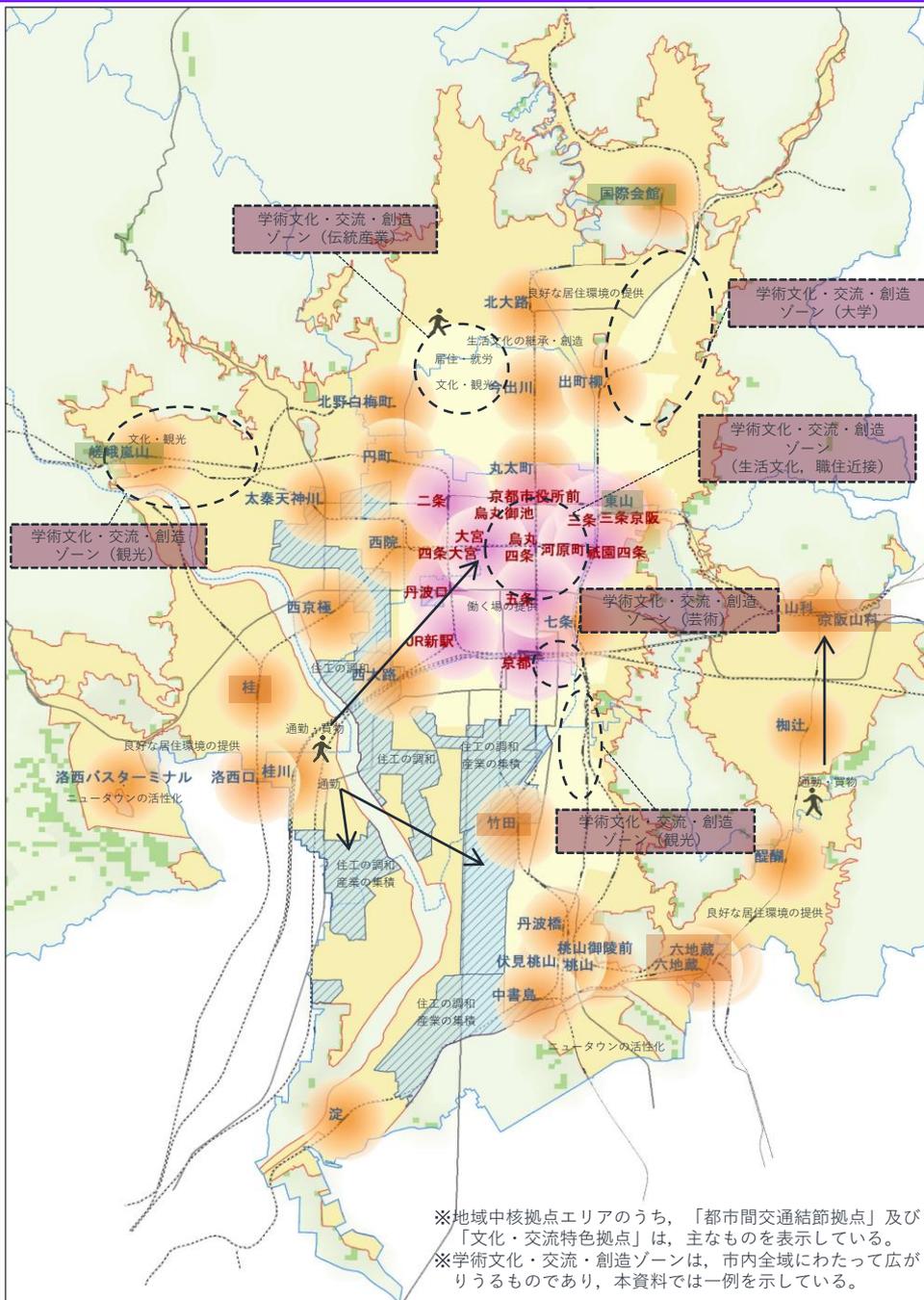
< 定住人口の生活の場 >
 多世代が安心・快適に居住し, 地域の
 コミュニティ・文化を継承
 (スーパー, 病院・診療所, 保育所,
 高齢者福祉施設 等)

ものづくり産業集積エリア

< ものづくり産業の集積 >
 操業環境の確保, 住工調和, 産業用
 地・空間確保により, 京都にふさわし
 い生産機能等を集積
 (ものづくり関連の工場, 研究所,
 オフィス, 物流施設 等)

緑豊かなエリア

< 地域の生活・文化等の継承 >
 農林業や観光等の産業の振興等により,
 地域の生活・文化等を維持・継承
 (地域の産業・生活を支える施設,
 観光等の交流施設 等)



※地域中核拠点エリアのうち, 「都市間交通結節拠点」及び「文化・交流特色拠点」は, 主なものを表示している。
 ※学術文化・交流・創造ゾーンは, 市内全域にわたって広がっているものであり, 本資料では一例を示している。

学術文化・交流・創造ゾーン

< 京都ならではの資源を活かし
 新たな魅力や価値を継承・創造 >
 高度な知識や技術, 多様な価値観を有
 する人々が出会い, 集い交流し, 京都
 ならではの歴史や文化, 伝統を発信し,
 文化・技術を継承・創造
 (京町家を保全したデザイン開発拠点,
 起業を目指す学生や若手研究者が
 集うオフィス・ラボ,
 伝統文化を学べるミュージアム等)

地域		
広域拠点エリア		
地域中核拠点エリア		
工 日 常 リ 生 活 ア 活	都市居住エリア	
	郊外居住エリア	
集 も の づ く り 産 業	西部産業集積エリア	
	南部産業集積エリア	
	新産業・研究開発型 産業集積エリア	
緑豊かなエリア		